

## 第96回 教育研究評議会 議事要旨

日時 平成22年7月15日(木) 13:30～14:55  
場所 事務局第3会議室(4階)

議題1. 国立大学法人鹿児島大学男女共同参画推進委員会の設置について(資料1)

議題2. 国立大学法人鹿児島大学広報委員会規則等の一部改正について(資料2)

報告事項1. 非常勤職員の任期取り扱いと同一職員の再採用の考え方について(資料3)

報告事項2. 国立大学法人鹿児島大学情報企画室設置要項の一部改正について(資料4)

報告事項3. 本学共催名義及び後援名義の使用許可について(資料5)

報告事項4. 学長補佐(入試担当)の担当業務変更について(資料6)

報告事項5. 進取の精神の涵養に関する講演会及び学生憲章ワークショップの開催について(資料7)

報告事項6. 男女共同参画推進室“muse篤姫”オープンキャンパス企画について(資料8)

報告事項7. 高等教育予算について(資料9)

報告事項8. 委員会報告

① 平成22年度第1回広報誌等編集専門部会の開催について(H22.6.15開催済)(資料10)

② 平成22年度第3回学生生活委員会の開催について(H22.6.14開催)(資料11)

③ 平成22年度第3回教務委員会の開催について(H22.6.29開催)(資料12)

④ 平成22年度第3回大学院教務委員会の開催について(H22.6.29開催)(資料13)

(入試関係)

⑤ 平成22年度第3回入学試験実施委員会(H22.6.18開催)(資料14)

⑥ 平成22年度第2回入学者選抜方法検討委員会(H22.6.30開催)(資料15)

その他

[出席評議員] 28名

吉田学長

(理事)河原、島、阿部、前田

(学部長等)石川、平井、武隈、土田、清原、宮嶋、榮鶴、吉田、杉原、福井、住吉、岩元、野呂、越塩、  
高松、松山、采女、安部、菅沼、井上、中河、門

(事務局長)盛本

[欠席評議員] 2名

(学部長等)長岡、米田

[オブザーバー]

坂東監事

(副学長)萩野、馬場、友清

(学長補佐等)鈴木、小栗、山本、飯干、坪内、富永、藤重、森岡

[事務局]

(部長) 後藤、南須原、野崎、萩元、長友

(課長) 鶴飼、川西、執行、野頭、上國料、松田、永田、神之門、岩下、上村、黒原、松野下、瓜生

議事に先立ち、第95回(定例)教育研究評議会の議事要旨(案)の確認が行われ、原案どおり了承された。

#### 議題1. 国立大学法人鹿児島大学男女共同参画推進委員会の設置について(資料1)

学長から、本学における男女共同参画の一層の推進を図ることを目的とする国立大学法人鹿児島大学男女共同参画推進委員会の設置について諮られ、河原理事から資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

また、河原理事から本学における男女共同参画推進のためのシンポジウムの概要について資料に基づき説明があり、基調講演者として板東久美子文部科学省生涯学習政策局長の内諾が得られた旨の補足説明があった。

#### 議題2. 国立大学法人鹿児島大学広報委員会規則等の一部改正について(資料2)

学長から、広報戦略機能強化のための広報・情報担当副学長の設置に伴う国立大学法人鹿児島大学広報委員会規則等の一部改正について諮られ、島理事から概要説明の後、企画評価課長から資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

#### 報告事項1. 非常勤職員の任期取り扱いと同一職員の再採用の考え方について(資料3)

河原理事から、非常勤職員の任期取り扱いと同一職員の再採用の任期の取り扱いとして、法人化後採用された非常勤職員について、任期満了(通算6年:短時間勤務職員、5年:定時勤務職員)後、3ヶ月以上の空白期間を設けて、同一職員を公募により応募することを可能としたこと、当該公募にあたって、再度採用される確約や期待感を持たせないこと、再採用は、面接等の通常の選考を行った結果、当該人物に決定した場合に適用されることとなる旨資料に基づき説明があった。

#### 報告事項2. 国立大学法人鹿児島大学情報企画室設置要項の一部改正について(資料4)

島理事から、情報に関する企画立案及び実施の更なる充実を図るための広報・情報担当副学長の設置に伴う国立大学法人鹿児島大学情報企画室設置要項の一部改正について概要説明があり、引き続き、情報企画課長から資料に基づき報告があった。

#### 報告事項3. 本学共催名義及び後援名義の使用許可について(資料5)

河原理事から、本学共催名義新規2件及び後援名義継続1件の使用許可について、資料に基づき報告があった。

#### 報告事項4. 学長補佐(入試担当)の担当業務変更について(資料6)

学長から、学長補佐(入試担当)の担当業務について、入試全般から高大接続を視野に入れた高等学校での普遍的学習の成果を把握するための仕組の構築、教育課程の確立、選抜制度改革等、入学者が大学教育を受けるための適切な高校と大学の接続に関する業務を担当してもらうため、「入試担当」から「高大接続担当」に業務変更を行った旨の報告があった。

報告事項 5. 進取の精神の涵養に関する講演会及び学生憲章ワークショップの開催について（資料 7）

阿部理事から、進取の精神の涵養に関する講演会及び学生憲章ワークショップの開催について、資料に基づき報告があった。

報告事項 6. 男女共同参画推進室“muse篤姫”オープンキャンパス企画について（資料 8）

河原理事から、男女共同参画推進室“muse篤姫”オープンキャンパス企画（郷中Café）について、資料に基づき報告があった。

報告事項 7. 高等教育予算について（資料 9）

学長から、高等教育予算に関し、管内閣の下で策定された「財政運営戦略」の「中期財政フレーム」によれば、平成 23 年度からの 3 年間は「基礎的財政収支対象経費」について前年度を上回らないこととされ、社会保障費の自然増（約 1.3 兆円）を勘案すれば、国立大学運営費交付金などの「政策的経費」は年率 8% の減となり、3 年間で 24% 減とすさまじい削減を求められることが予想されるため、国立大学協会としては、平成 23 年度概算要求における国立大学運営費交付金については、削減の対象とせず、「新成長戦略」に基づき、長期的な観点から予算配分が行われるよう強く要望していくこととしている旨の報告があった。

また、島理事から昨日行われた文部科学省での概算要求ヒアリングにおいて、現在では同削減幅は年率 10% 減で検討されている動きもあることの補足説明があった。

なお、本学としても鹿児島県選出の国会議員、県知事等に大学の現状を説明のうえ、国立大学運営費交付金が削減の対象とならないように陳情していく予定である旨の報告があった。

報告事項 8. 委員会報告

学長から、以下の委員会①～⑥については、各部局関係委員から確認願いたい旨の発言があった。

① 平成 22 年度第 1 回広報誌等編集専門部会の開催について（H22. 6. 15 開催済）（資料 10）

② 平成 22 年度第 3 回学生生活委員会の開催について（H22. 6. 14 開催）（資料 11）

③ 平成 22 年度第 3 回教務委員会の開催について（H22. 6. 29 開催）（資料 12）

④ 平成 22 年度第 3 回大学院教務委員会の開催について（H22. 6. 29 開催）（資料 13）

（入試関係）

⑤ 平成 22 年度第 3 回入学試験実施委員会（H22. 6. 18 開催）（資料 14）

⑥ 平成 22 年度第 2 回入学者選抜方法検討委員会（H22. 6. 30 開催）（資料 15）

その他

学長から、平成 23 年度以降の高等教育予算が 8%～10% 削減されることが予想されるため、今後企画立案部門である人事計画室で教員の定数問題、配置のあり方、人件費削減などを検討願うこととしていること、また、当該削減が平成 23 年度から実施されるとすれば、今年中にはその対応策、方向性を得る必要があり緊急を要すること及び総合的視野で検討する必要があることから学内から参画願った WG を人事計画室の下に設置して、早急に対応策素案を作成し、人事労務管理委員会で調整後、大学運営会議、教育研究評議会にて審議していく旨の報告があった。

一方、本学の将来構想、組織改組等に関しては、戦略会議で検討のうえ、大学運営会議、教育研究評議会にて審議していく旨の報告があった。

次回の定例の教育研究評議会は、平成 22 年 9 月 16 日（木）に開催予定となった。